高速道路 映像通報システム

Live-X

高速道路 映像通報システムとは、お客さまのスマートフォンやタブレット端末で撮影された道路情報等（事故の状況、道路の異常等）を管制係員へリアルタイムに映像伝送できるシステムです。

試行導入期間

令和5年9月13日～

ご協力のお願いについて

道路緊急ダイヤル#9910での通報に対し、より迅速かつ適切な対応を実現するための新たな取り組みとして、試行導入を実施します。

当システムの使用にあたっては、お客さまの安全が確保されていることが前提となります。お客さまの安全が確認できた場合に限り、管制係員から当システムの使用方法についてのご案内をさせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

詳細は裏面をご覧ください。

高速道路 映像通報システム【ご利用の流れ】

1

管制係員が通報内容に応じ、お客さまへ当システムのご案内を行います。
（安全確保が確認できない場合はご利用案内は行いません）

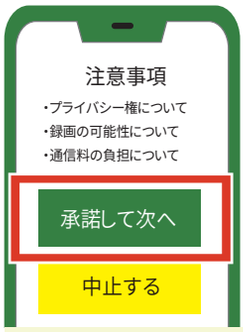
スピーカーに切り替えると電話の音声が聞こえやすくなります。

2

映像通報にご協力いただける場合には、管制係員からショートメッセージを送らせていただきます。記載されているURLへアクセスすると、映像通報システムが起動します。

3

撮影前に注意事項を確認します。問題なければ承諾し先へ進みます。



【注意事項】

- 送信する映像等に係る著作権は放棄して頂きます。
- GPS 機能を用いて通報者の位置情報を取得します。
- 第三者のプライバシーを不当に侵害することがないよう撮影をしてください。
- 映像等の送信にかかるデータ通信量は通報者の負担となります。

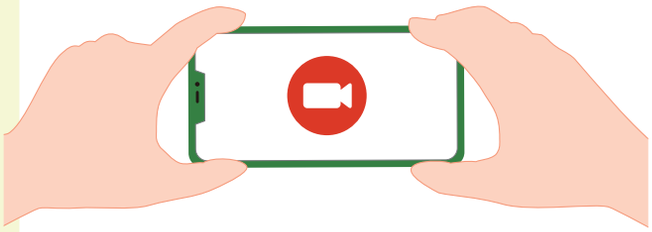
4

マイク・カメラ・位置情報の確認はそれぞれ「許可する」をタップします。

※マイク・カメラで「許可しない」を選択するとシステムは使用できません。
※位置情報は提供に同意いただける場合のみ許可をしてください。

5

音量を最大まで上げ、スマートフォンを横向きにします。 が表示されたらタップして撮影を開始します。



6

スマートフォンで撮影している映像が管制係員にリアルタイムで伝送されます。
※映像は録画する場合があります。

「故障車」や「落下物」・「道路の破損」などを見つけたら

道路緊急ダイヤル

#9910

安全な場所に停車してから電話をおかけください。（通話料無料）

24時間、365日、お客様の声をお聞きしています。

NEXCO東日本お客さまセンター

0570-024-024